

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	鹿児島県川辺町教育委員会生涯学習課 電話： 0993-56-1111(273)
----------------	--

1. 概要

事業名	家庭教育学級における人権教育について
主催(共催)	主催:川辺町教育委員会 (実施主体:全小中学校)
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	実施年月日 平成16年6月24日、7月8日 平成17年1月28日、2月10日、2月17日 参加人数85名
開催場所	各小中学校
対象	家庭教育学級生
人権課題	人権全般、特に人権意識を持った子どもを育てるための学習、また社会問題になっている虐待に関する学習

2. 事業内容

<p>(1)事業の目的</p> <p>・生涯学習の観点に立って、家庭における望ましい人間関係や家庭教育のあり方を身につけ、健全な子どもを育てる。中でも人権教育については、親自身が人権問題について認識と理解を深め、偏見や差別のない明るい家庭の実現を期し、個人の尊厳を重んじ基本的人権を尊重する態度を身につける。</p>
--

<p>(2) 事業概要</p> <p>・身近な人権教育について考えるために、児童虐待とDVIについて講話。その後、質問や意見等の時間を設定し、身の回りにおける差別等について」と題して情報交換する。また、川辺町は平成15年に男女共同参画社会を宣言していることから、男女共同参画社会の形成についても啓発を行った。</p>
<p>(2)-1 連携状況</p> <p>・人権擁護委員を招いた人権学習会の実施 ・学校教育課と連携し、「人権同和教育研修会」へ家庭教育学級の一環として出席を依頼する。</p>
<p>(2)-2 特色・工夫した点（広報の方法も含む）</p> <p>・各学校からの案内文の中には、関心を高めるためにチラシ風のものを作成している学校もあった。 ・父親も出席できるように、日曜参観に人権教育を実施した学校もあった。 ・町の保健福祉課が作成した「児童虐待防止リーフレット」を積極的に活用した。</p>
<p>(3) 参加者の反応・事業の反響等</p> <p>・児童虐待が増加傾向にある事実を知ったり、パワーポイントを使った話も分かりやすかったりして人権教育に関する関心や理解が高まった。 ・日曜参観で人権教育に関する学習会を実施できたことは、普段ほとんど学校に來れない父親のためにありがたかった。 ・川辺町が男女共同参画社会を宣言している町であるとは知らなかった。今後、男女共同参画に関する学習会を是非設けてほしい。 ・家庭教育学級に参加できなかった人に学習会の内容を伝えたい。 という感想を得た。</p>
<p>(3)-1 反省点・今後の課題</p> <p>・人権に関する学習会になると、内容が難しいものと考え、構えた雰囲気学習会になりがちである。今後、ワークショップを取り入れるなど何でも話せる雰囲気づくりに努めたい。 ・参加できなかった方々への啓発をどう図っていくか課題である。家庭教育学級通信や口コミ等で学習の内容を広報したい。</p>